

メッセージ題「神様からのプレゼント」 <先週の講壇より>

『見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。』この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。」マタイ 1:23 【新共同訳】

アメリカのテレビ番組で、こんな心温まるニュースが報道されていました。マサチューセッツのあるグローサリーストアで、「女性が万引きした」という知らせで警官が駆けつけたそうです。すると女性はシングルマザーのようで、2人の娘を連れており、事情を聞くと、貧しく、せめて娘たちにクリスマスの食事を与えたいということ。彼女の言っていることがすべて本当だということを知った警察官は、おもむろに自分の財布を取り出し、そのお店のギフトカードを購入、彼女に手渡したそうです。そして「これでクリスマスディナーを買ってください」と言い残し、去っていったということです。

彼女は、罰せられるどころか、罪は許され、恵みが与えられました。こんなことがあるでしょうか？ いえ、二千年前にもっともっと大きな罪の赦しと救いが私たちに与えられました。そう、それはイエス様の十字架です。神様は一人子を十字架にかけるとともに私たちを愛し、この地上にお送りくださった。これほどの大きなプレゼントを私たちはいただいているのだということを、改めて感謝し、イエス様を心にお迎えしようではありませんか。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2021 年 12 月 5 日



礼拝：9時半～  
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ 2 : 15

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40  
ブレイク : 10:45-11:00  
バイスタ : 11:00-12:00  
みふみ会 : (水) 10:00-  
定例祈禱会 : (水) 18:30-

